

かかず
嘉数バンタ



現在の嘉数バンタ遠景
(豊見城グスクより)

戦前の嘉数バンタの状況

嘉数バンタはかつて、豊見城グスク、瀬長島と並ぶ豊見城三景の一つで、嘉数集落の西方、専門学校に隣接するゲートボール場一帯の高台を言います。

嘉数バンタからの眺めは絶景で、眼下には漫湖のたたずまいやそこに浮かぶ奥武山おうのやま、ガーナー森などが一望することができました。特に夕映えの景色は大変素晴らしく長嶺小学校の校歌にも歌われています。

右下の写真は字嘉数在住の赤嶺家が所有する戦前のバンタの状況です。左側の枝ぶりも見事な松は戦前この地のシンボルで、バンタの周辺はこの様な松やソテツが群生しており、眺めの良さをひときわひきたたせていたと思われます。

戦前、地元はもちろん、那覇やその近郊の家族連れが軽便鉄道けいびんてつどうにのって真玉橋駅で下車し、真玉橋を渡って、バンタに来て景色を眺めたり、隣接する嘉数部落の馬場でかけっこ等をして楽しんでいたと言われ行楽地としても有名でした。

